

このたび石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

2024年3月1日、弊社はおかげさまで創業100周年を迎えることができました。弊社は、宮内省大膳寮員に奉職しておりました創業者 門倉國輝(以下、國輝)によって1924年に創業されました。創業当初より、洋菓子業界唯一の宮内省御用達の名誉を賜り、今日に至っております。

國輝は、パリに単身渡仏し、当時パリで一番と言われていたコロバンで修業を積み、のれん分けを許され、帰国後にパリコロバン東京支店としてスタートさせました。当時のフランス菓子は、日本人にとって馴染みのないものでしたが、試行錯誤を重ね、日本のケーキの代名詞となるショートケーキを生み出しました。それは、日本人に馴染みのあるカステラ生地を生クリームをコーティングし、その上に苺を乗せ真上から見ると日の丸に見えるようにしたものでした。誕生には國輝を介しての、福羽逸人博士の「福羽苺」と、中沢乳業が輸入した遠心分離機による「生クリーム」との、奇跡の出会いがあってこそ完成したものです。

戦時中には一時休業しましたが、終戦後には、菓子作りを復活させ、疲弊した人々を勇気づけました。そして、高度経済成長を背景に、大きな発展を遂げるものの、1981年(昭和56年)2月17日、國輝はこの世を去りました。一時、全国の百貨店へ出店した店舗、サロン(喫茶店)は、200店舗弱、従業員数は1,000名にも上りました。しかしバブル後、業績は急激な右肩下がりとなりました。4工場を売却するなど資産処分を行うことで、減収増益経営を続け、店舗数は40店舗にまで縮小しました。設備も老朽化し、物づくりの技術や心までが失われ、弊社の資産は大きく毀損されることとなりました。

2006年、弊社は新体制となって、事業の再生、復活を目指しました。従来のビジネスモデルからの脱却を図り、物づくりの徹底的な見直し、組織の在り方、考え方、意思決定の在り方、偏りを避けた販売チャネル戦略、商品のリスク分散、人材育成、新卒の継続的採用の実施、新商品開発、等を10年間かけて実施しました。埼玉工場、続く埼玉物流センターを完成させ、製造、物流の効率化も実現させました。これにより再生、復活に成功し、今日のこの日に100周年を迎えることができました。

この100年を支えてくださったのは、多くのお客様、従業員、株主様、取引先様含めた全てのステークホルダーの皆様でございます。心より感謝申し上げますと同時に、これから始まる100年に向かって更なる進化を遂げるため、挑戦を続けていくことを皆様にお誓いいたします。これからも末永いご指導、ご支援をお願い申し上げます。

世の中は大きく変化を遂げていきますが、社会の中心にいるのは常に人であり、技術革新や社会の進歩は人類が笑顔で幸せになるためのものです。人がいる限り、人々は笑顔と幸せを求めます。創業者 門倉國輝は「美味しさは夢の始まり」と言っております。人は美味しいお菓子を食えば夢を感じ、幸せを感じることができます。弊社はこれからも変化する社会の中で、人々を笑顔に、幸せを感じ、夢が持てるお菓子作りで社会に貢献して参ります。

2024年3月1日

株式会社コロバン 代表取締役社長 小澤俊文